

夏の所蔵作品展

Collection Exhibition
Summer Museum:
A Trip to the World of Fantasy
Seiichi Wadaoka, Art Crafts of Central Asia



丸ノスマ《果》1953年 紙本彩色

サマーミュージアム

空想の世界へ

小特集 和高節二／中央アジアの工芸

2018(平成30)年 7月4日(水) → 9月9日(日)
2階展示室

開館時間: 9:00 - 17:00

※金曜日は20:00まで開館、入場は閉館の30分前まで

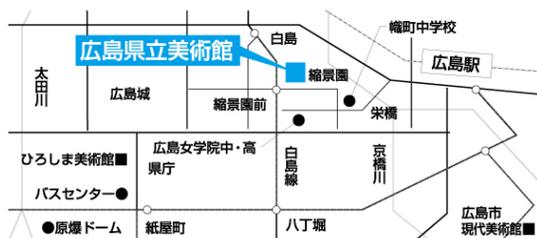
休館日: 月曜日

※特別展会期中・祝日・振替休日を除く

入館料: 一般 510(410)円、大学生 310(250)円、
高校生以下無料

縮景園との共通券: 一般 610円、大学生350円

※()内は20名以上の団体



- JR広島駅より約1km
- 広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

press release

【概要】

広島県立美術館 夏の所蔵作品展

サマーミュージアム 空想の世界へ

【小特集】和高節二 / 中央アジアの工芸

1968(昭和43)年に開館した広島県立美術館は、1996(平成8)年に現在の建物に生まれ変わり、今年2018年、開館50周年の節目を迎えることができました。

開館以来、多くの方々のご協力を得て、コレクションを充実させてきました。収集重点方針として「広島県ゆかりの美術」「1920～30年代の美術」「日本及びアジアの工芸」を掲げ、現在は総数5,000点を超えています。

今年度の所蔵作品展はコレクションの魅力を様々な角度からご紹介します。夏期は特別展の「ジブリの大博覧会」によせて「サマーミュージアム 空想の世界へ」のテーマのもと、芸術作品に表現された自由自在な空想の世界をご紹介します。また、ふたつの小特集である「野に生きた画家・和高節二」、「中央アジアの工芸」もお楽しみください。

来館するごとに新しい美の魅力を発見していただける展示をめざし、今後も努力を重ねていくことで、美術館を支えてくださる皆さま方への感謝の気持ちを表してまいります。今後の所蔵作品展にもご期待いただきたいと思います。

【内容】

空を飛ぶ夢

空に憧れ、雲のように鳥のように自由に飛ぶことを夢見てきた人類。

ここでは、当館のコレクションの中から、空や鳥、雲をモチーフとした作品を展示します。例えば、飛び上がる感覚を色鮮やかに表現した名井萬亀《チャウヤク(跳躍)》、高い空に舞う風を構成的に表した新田稻実の《風》、雲を従え、暴風を吹き上げる激しい動きと力を表現する橋本雅邦の《風神雷神》など、目には見えないけれど確かに感じられる「あの」感覚を視覚化しています。

また、前衛陶芸集団の走泥社の八木一夫や鈴木治、宮永理吉らは、空や鳥をモチーフとした作品を多く制作しています。土という地の素材をもって、空の表現を求めるところには、技術への挑戦と、まだ見ぬ新しい陶芸への夢が託されているのかもしれません。

さあ、笹山忠保《魔法のじゅうたん》に乗って、空への旅へ出発しましょう。



笹山忠保《魔法のじゅうたん》1974年、陶

press release

無意識の物語

20世紀を迎えると、人間の内面や感情など「目に見えない世界」を描出しようとする美術の動きが高まりました。とりわけ、1920年代に誕生したシュルレアリスム(超現実主義)という芸術運動は、意識によって捉えられる現実世界を超越した「無意識」の世界に新しい価値を見出そうとします。

サルバドール・ダリは、写実的な描法を用いながら、現実には存在し得ない事物を組み合わせることで、混沌とした深層心理のような世界を描きました。マックス・エルンストは、偶然性が作品に反映されるフロッタージュ(擦り出し)という技法を取り入れることで、意識が介在しないところに現れる美を見出そうとしました。

シュルレアリスムの方法論は、様々なジャンルに大きな影響を与えます。その流れは欧米だけに留まらず、日本にも押しよせました。1920年代末～40年代初頭という激動の時代において、画家たちは「現実」と対峙するためにその方法論を取り入れ、戦後に発足した「走泥社」の陶芸家たちはシュルレアリスムの影響が感じられる「オブジェ焼き」を発表しました。

当たり前の現実を揺るがす、空想の世界をお楽しみください。



ワシリー・カンディンスキー《小さな世界》
1922年、紙・木版・リトグラフ・ドライポイント

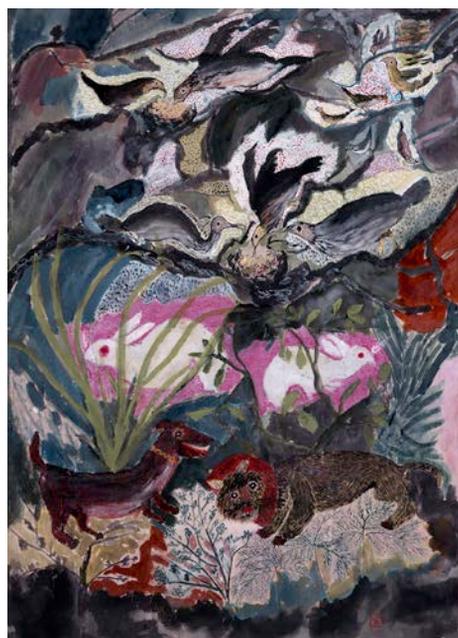
めくるめく空想

空想(ファンタジー)は、もともとはギリシア語で「見えるようにする」を意味する言葉です。想像力が作り出す、現実とはかけ離れた独特の世界は、さまざまな形で表現されてきました。

例えば、月や月明かりの詩情を愛する作家は多く、善鳩人《薄明》や深沢幸雄《月下の対話》など、月夜の清らかな光や生命を幻想的に表しています。また、ギリシアの神・ポセイドンの妻を描いたピカビア《アンピトリテ》や、圓鐔勝三《姫と大蛇》のように、神話や伝説などにルーツをもつ空想もあります。

他方、丸木スマ《巢》や太田忠《橋のある風景》のように、現実の世界を描いたであろうはずが、奇妙で非現実的な感覚を呼び起こす作品もあります。また、「山水画」は主題的には風景画だと思われるかもしれませんが、東洋では「胸中丘壑」という言葉がある通り、文人の理想が山水のイメージに託して表されたという点で、空想の世界を表したものともいえるのです。

めくるめく
目眩く空想の世界をさまよってみませんか。



丸木スマ《巢》1953年、紙本彩色

press release

【小特集】野に生きた画家・和高節二

広島県安芸高田市に生まれ、広島県民に愛された画家・和高節二（1898-1990）。

和高は、生涯を通じて郷里に拠点を置き、農業と画業を両立しながら、活動を続けました。その名声が広く知られるようになったのは、1940（昭和15）年の「紀元2600年奉祝日本画大展示会」で最高賞を受賞したことによります。東京でも京都でもなく、広島県北の農村に生きる一画家の受けた栄誉は非常に大きなもので、画家の生涯を代表する一大事となりました。

しかし、画壇の名声に拘泥せず、終生を農村にささげた和高の画業を通覧するとき、その軌跡というべき作品は、生誕120年を迎える画家の豊かな個性をますます輝かせているように思われます。

当館では、101点の和高節二作品（日本画53点、油彩画1点、パステル画1点、素描33点、美術資料13点）を所蔵しています。小特集では、これら所蔵作品から画業を振りかえり、画家の生涯を辿ります。



和高節二《仔牛誕生》1970年、紙本彩色

【小特集】中央アジアの工芸

中央アジア、別名トルキスタンは、東は中国の新疆ウイグル自治区あたりから、西はカスピ海あたりにまたがる広大な地域です。古代から現代にいたるまで、政治的、宗教的、民族的そして文化的にも、周辺地域からさまざまな影響を受けてきたことで複雑な多様性が生まれました。

美術の世界でも、壮麗なモスクや学校の建築、経緋や刺繍を駆使した民族衣装や絨毯といった染織、銀や宝玉で作られた大ぶりの装身具、各地で焼かれた陶器や建築物を彩るタイルなど、バラエティに富んだ工芸の世界が花開きました。

「日本とアジアの工芸」を収集方針の一つとして掲げる当館は、中央アジア（主に旧ソ連領中央アジア）の染織174件、ジュエリー750件という、世界的にも有数のコレクションを所蔵しています。今期はとくにトルクメンのジュエリーとウズベクとトルクメンの染織作品を紹介します。

人気マンガ『乙嫁語り』の著者の森薫さんによる、ミニガイドの原画もあわせてご覧ください。

華やかな民族衣装とジュエリーをまとった気分で、中央アジアの彩りに満ちた世界に出かけましょう。



《刺繍布（スザニ）》シャフリサブス（現）1850年頃、木綿、絹糸、刺繍

press release

【関連イベント】

① ワークショップ「中央アジアの刺繍をしてみよう」

大きな刺繍布スザニから手のひらサイズの袋まで、中央アジアは刺繍の宝庫。

直径3センチほどの布に刺繍して、くるみボタンに仕立ててヘアゴムやマグネットを作ります。

森薫さんの人気マンガ『乙嫁語り』の世界を少し体験してみませんか？

日時：7月27日（金）13：30～15：00／8月31日（金）13：30～15：00

場所：広島県立美術館 2階 所蔵作品展中央アジアの工芸展示室付近

講師：福田浩子・岡地智子（当館学芸課）

対象：小学生以上～大人

参加費：無料（ただし所蔵作品展入場券が必要）

※要事前電話申込 tel 082-221-6246（各回定員20名）

（7月4日（水）9時～受付開始、空きがあれば当日参加可）

問合せ先：広島県立美術館 学芸課 福田・岡地

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

Tel 082-221-6246／Fax 082-223-1444

※ヘアゴム着用例



② 子ども向けワークシート

作品を想像力で読み解いてゆくワークシートを配布します。

体験者には絵葉書を謹呈します（在庫分のみ）。

対象：小学生～（大人も参加可）

③ 友の会ボランティアガイド

当館友の会ボランティアガイドが所蔵作品展についてわかりやすく解説します。

日時：平日14：00～／土日祝11：00～、14：00～（1時間程度）

※第4土曜日の11：00～は、親子ギャラリートークを開催します。

場所：2階 展示室

参加料：無料

※要入館券（高校生以下無料）、申込不要

※8月4日（土）は休み。

press release

【ミニガイドの無料配布】

「広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド④野に生きた画家・和高節二」と
「広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑤中央アジアの工芸」を
来館者に無料配布します。

※「⑤中央アジアの工芸」では、人気マンガ

『乙嫁語り』の著者の森薫さんによる

原画もご覧いただけます。



【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、
当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館まで
ご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg (上西宛)または、
iroeuma2@gmail.com

担当 学芸課 神内 有理

総務課 広報担当 上西 真由美 一色 直香